

環境報告書をご存じですか？

環境報告書は、事業者が環境負荷及び配慮等の取組状況について公表する法律（環境情報法）に基づき、2006年度から毎年作成しています。

詳しくは <http://www.hiroshima-u.ac.jp/top/intro>
本紙「HU-eco」は、環境報告書の一部を公開し、社会への環境活動へのご理解とご協力をお願いする。本紙の発行は、関係者のみなさまにお願いするためのものです。

環境報告書の目次（2014年度の実績報告）

学長インタビュー
環境基本理念・環境基本理念・行動方針

大学概要
環境管理体制
2014年度の目標と実績
本学における環境教育（毎年、その一部を「HU-eco」に掲載）
教養教育 / 法学部・経済学部・社会学部・工学部・薬学部・医歯薬保健学研究科
環境研究（毎年、その一部を「HU-eco」に掲載）
社会貢献（毎年、その一部を紹介）

2014年度の実績
環境基本理念の取組と実績
環境基本理念の遵守状況
環境報告ガイドライン（2012）
第三者コメント・アンケート
キャンパスマップ、等

2014年度環境目標

環境基本理念の実現
本学における環境教育等を通じた環境意識の醸成
地域・国際社会との連携強化と促進
環境基本理念の推進
地域社会・市民と連携した環境保全活動の推進
地域・国際社会の環境問題解決に向けた取組の推進
* 学校教育から生涯学習までの地域環境教育への貢献
自然環境の保全
* キャンパス内の生物相の把握
* キャンパス内の生物多様性を守る生態系管理体制の構築
* キャンパスの自然環境の管理・保全の実施
資源の有効利用の推進
中期目標（2016年度から6年間）の作成に向けて、エネルギーを含めた資源の利用・再利用の実態把握と課題の抽出を行う
* エネルギー使用原単位の削減
2014年度比1%削減
2015年度までに2013年度比2%削減

* 水使用量の削減と資源化の促進
水使用量の削減（2012年度実績より減）
水再利用の促進

* 廃棄物の削減と資源化の推進
資源化促進による可燃ごみ排出量の削減
（2012年度実績より減）

* コピー用紙購入量の削減
2012年度実績より減



環境目標と実績「自然環境の保全」



2014年度の環境目標と実績「資源の有効利用」

項目	2014年度目標値	2014年度活動実績
可燃ごみ 廃棄物の削減と資源化の推進	資源化促進による可燃ごみ排出量の削減	▲ (2012年度比)
	2012年度実績より減	
紙 コピー用紙購入量の削減	2012年度実績より減	1.2%減 (2012年度比)
エネルギー エネルギー使用原単位の削減	2013年度比1%削減	5.06%減 (2013年度比)
	2015年度までに2%削減 (2013年度・・・基準年)	5.06%減 (2013年度比)
水 水使用量の削減	2012年度実績より削減	1.9%増 (2012年度比)
	資源化の促進	14.6% (対上水使用量比)



混ぜればゴミ、
分ければ資源

エネルギー使用原単位：各エネルギー（電気・ガス・重油）消費量を原油換算し、対象建物の延べ面積で除した値

広島大学で使っているエネルギーは、

2014年度
全学エネルギー消費量（熱量換算）997,502 GJ/年（約100,050MWh/年）
構成員² 1人1日当たり 120MJ/人/日（約12kWh）
この値は、一般家庭の1人1日当たりの電気使用量の約2倍です。

全学CO₂排出量 68,873t-CO₂

- 1 省エネ法による電力量換算値
- 2 構成員：全学の教職員と学生、生徒、児童、園児の総数（約22,780人）

広島大学で出たごみは、

可燃ごみ排出量（全学）約598t
可燃ごみ（2012年度比）約24t 増
約3～4割がリサイクル可能なごみです。（2009年度調べ）
ペットボトル回収量 33,265kg/年 約2,300本/日
ペットボトルキャップの回収は終了しましたので、可燃ごみとして捨ててください。

研究室や事務室に分別BOXを設置し、分別し易い環境を作りましょう!!

分別すればリサイクル可能な紙（封筒類、紙袋、包装紙、紙箱など）が、**可燃ごみ**として出されています。可燃ごみを減らし、資源を有効活用するためには、ごみ分別の徹底が重要です。これらの紙は雑誌類に分別し、資源化しましょう。



これらはすべて雑誌類にまとめて搬出

皆様のご理解と
ご協力をお願いします

学生環境委員会とは

環境マネジメント委員会の下、自然環境保全専門委員会と連携を図りながら活動する学生のみで構成された委員会です。広島大学の環境配慮活動に、学生にも主体的に参画してもらうことを目的として、2014年10月に設置しました。広島大学の「環境目標」（環境教育・社会貢献の推進・自然環境の保護・省エネ推進）を達成するために次の活動を行っています。

1. 環境目標に沿った活動の年度計画の策定
2. 自然環境保全専門委員会と連携した活動
3. 広島大学における環境活動の普及啓発、情報発信
4. 活動を通じた地域貢献



学生環境サポーター

2013年に設立された、広島大学における環境活動の企画運営に参加している学生ボランティア団体です。現在、学部生11名と院生12名が登録し、学生環境委員会で決定された活動について、委員と共に活動を行っています。その他にも、大学生・大学・地域の方などに向けた企画を考えたり、大学構内の生態調査、環境啓発ポスターの作成などを行っています。一緒に活動してくれるメンバーを募集しています。興味がある方は、下記HPをご覧ください。

- * 広島大学 HP > 大学案内 > 環境への取り組み > 学生環境サポーター <http://www.hiroshima-u.ac.jp/top/intro/kankyo/kankyosupporter/>
- * もみじ > 学生生活のサポート > 学生環境サポーター <https://momiji.hiroshima-u.ac.jp/momiji-top/life/life/kankyosupporter.html>



教育学研究科博士課程前期2年
井手野 貴将

今後も、これまでの活動に囚われず様々な活動を行っていきたく思います。大学構成員として、参加者として、そして一緒に活動していく学生環境サポーターとして大学の環境活動を盛り上げませんか。

< 学生環境委員会・サポーターの活動紹介 >

環境教育

学童保育の子どもたちに対して、水の浄化装置をペットボトルで作る工作教室を行い、装置作成を通して泥水がきれいになる不思議を感じてもらいました。また、昨秋の大学祭では、初めて出店し、浄化装置作りを子どもだけでなく大学生など幅広い参加者に興味を持って理解していただけるように改良したり、学内で採取した竹やドングリで竹トンボや置物を作ってもらったりして、水資源、学内自然について考えるきっかけを提供しました。



水の浄化装置作り

自然環境の保護

これまで継続的に行っていた学内の植生調査に加え、西日本で5年に1度行われるタンポポ調査にサンプルを提供するため学内外のタンポポ採取も行いました。また、東広島キャンパス内には、整備されて保たれているピオトープや里山環境が存在しています。これらを学生にもっと知ってもらい自然環境の維持・キャンパス内の珍しい生態系に興味を持ってもらえるよう2014年秋から「キャンパスツアー」を開催しています。



キャンパスツアーの様子

省エネ推進と キャンパスの緑化活動

講義室等のエアコンの温度設定についてのポスターの作成を行い学生や教職員に意識付けを行うとともに、昨年度末からは学内の緑地化にも力を入れています。例えば、中央図書館前の藤棚をきれいに整備し、花壇の部分に花を植えるなどし、涼めて、気持ちのいい空間を作りました。また、依頼に応じて、学部棟の花壇のレイアウトを季節や植物を考え提案しました。



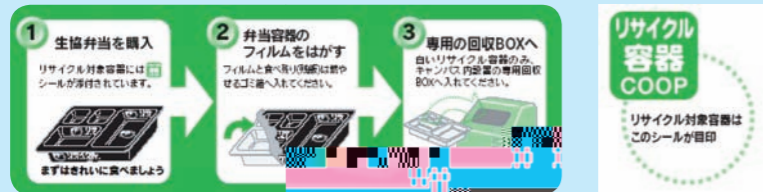
環境啓発ポスターの作成

社会貢献の推進

東広島市主催「きれいなまちづくりキャンペーン」などの地域が開催する清掃活動に参加し、広島大学の環境に対する姿勢をアピールしたり、地域住民の方と一緒に活動ができるように交流を深めたりしています。

「リ・リパック」 広大生協 弁当容器のリサイクル

「リ・リパック」とは、再生率100%の弁当容器です。広大生協では、各生協店舗で販売されている生協食堂製の弁当容器に「リ・リパック」を使用しています。回収された容器は、ペレットに加工され、もう一度同じ弁当容器として再生されます。広大生協では、回収ボックスを設置し、回収率のアップに取り組んでいます。



回収ボックス設置場所 総科西・東講義棟 北1 西2 北2 ショップ、会館喫茶